

地方独立行政法人堺市立病院機構  
中期目標期間の業務実績に関する評価結果報告書

令和2年8月

堺 市

《 目 次 》

はじめに	1
第1項 全体評価及び検討結果	2
第2項 項目別評価	4
(Ⅰ) 大項目評価	
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	4
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	6
第3 財務内容の改善に関する事項	7
第4 その他業務運営に関する重要事項	8
第3項 第2期中期目標期間の項目別の業務実績及び小項目評価結果	9
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	
1 市立病院として担うべき医療	12
2 高度専門医療の提供	19
3 安全・安心で信頼される患者中心の医療の提供	25
4 地域への貢献	33
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	
1 効率的・効果的な業務運営	39
2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり	42
第3 財務内容の改善に関する事項	
1 安定した経営基盤の早期確立	44
第4 その他業務運営に関する重要事項	
1 環境にやさしい病院運営	46
《参考資料》	
・地方独立行政法人堺市立病院機構 業務実績評価等の基本方針	51
・地方独立行政法人堺市立病院機構 中期目標評価等実施要領	53

## はじめに

堺市長は、地方独立行政法人法第 28 条の規定に基づき、地方独立行政法人堺市立病院機構の平成 27 年 4 月 1 日から令和 2 年（平成 32 年）3 月 31 日までの第 2 期中期目標期間における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会条例第 2 条第 2 号の規定に基づき、堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会の意見を踏まえ、平成 30 年 4 月 1 日に決定した「地方独立行政法人堺市立病院機構 業務実績評価等の基本方針」及び「地方独立行政法人堺市立病院機構 中期目標評価等実施要領」に基づき評価を行った。

### 堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	役職名等
委員長	後藤 満一	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター 総長
職務代理	西川 正治	一般社団法人 堺市医師会 会長
	北村 愛子	大阪府立大学 療養支援看護学（急性看護学）教授
	篠藤 敦子	公認会計士・税理士
	高橋 聖	大阪ガス株式会社 南部地区支配人・和歌山地区支配人

# 地方独立行政法人堺市立病院機構中期目標期間の業務実績に関する評価結果

## 第1項 全体評価

### 1. 評価結果及び判断理由

地方独立行政法人堺市立病院機構における第2期中期目標期間（平成27年度から令和元年度（平成31年度））の全体評価の結果は、『全体として中期目標を十分に達成した』である。

第2期中期目標は、平成27年度から令和元年度（平成31年度）までの5か年度を期間とし、この期間における業務実績に関する大項目評価については、4ページ以降に示すように第1から第4までの4つの大項目について、すべて「評価A（中期目標を達成した）」と判断した。

この大項目の評価結果に加え、三次救急を含めた救急医療の推進及び急性期医療を担う病院として医療水準のさらなる向上と、多職種が連携するチーム医療の実施など質が高く安全・安心で信頼される医療の提供、職員の人材育成ややりがいを持ち働きやすい職場環境の整備などに取り組んだ。特に、

①平成27年度に堺市立総合医療センターを開設し、市内唯一の救命救急センターの運営を始め、二次救急で対応が困難な重篤な患者の搬送応需率を上昇させたことや堺市管内で発生した救急搬送について5年間継続して最も多く受け入れたことなど、二次・三次救急の一体的運用による市内の救急医療体制の充実に大きく貢献したこと

②国指定の地域がん診療連携拠点病院として、手術・放射線療法・化学療法を効果的に組み合わせた集学的ながん治療を提供し各治療実績を大きく伸ばすとともに、ゲノム医療に関する専門的な相談外来の開始、相談支援、緩和ケア医療、予防など、総合的ながんへの対応に取り組み、がん診療の質的向上に努め、がん予防に寄与したこと

③収益の確保と費用の削減に組織全体で粘り強く取り組み、新病院への移転の影響で平成27年度に87.3%まで下がった経常収支比率を、令和元年度には新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも99.8%まで改善させたこと

などから、第2期中期目標期間の業務実績に関する評価は、「全体として中期目標を十分に達成した」とした。

### 項目別評価の結果一覧

大項目	年度評価結果					中期目標 期間見込 評価結果	中期目標 期間評価 結果
	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価		
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	A	A	A	A	A	A	A
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	A	A	A	B	A	A	A
第3 財務内容の改善に関する事項	A	A	A	A	A	A	A
第4 その他業務運営に関する重要事項	A	A	A	A	A	A	A

## 2. 全体評価にあたって考慮した内容

第2期中期目標期間は、平成27年度の堺市立総合医療センターの開院や、平成28年度の新理事長・新院長の就任による新体制での病院運営の開始など、病院にとって重要な転換期を経て、厳しい医療情勢の中さまざまな変化に対応しながら、堺市二次医療圏における中核病院として質の高い医療を安定的かつ継続的に提供してきた。

特に、救急医療については、市内唯一の救命救急センターの運営を開始し、二次救急で対応が困難な患者を積極的に受け入れ、市内の救急告示病院との役割分担のもと、24時間365日救急医療を提供する体制を構築し、目標指標である救急搬送受入件数について中期計画目標を達成することができた。

小児医療については、隣接する堺市こども急病診療センターからの二次後送を最も多く受け入れ、小児の二次救急医療の安定的な提供に貢献した。救急外科などと連携し小児の外科系疾患や外傷患者についても積極的に受け入れ、児童虐待の早期発見にも寄与した。また、小児特有の専門治療が必要な患者に対して循環器系外来、神経外来、発達外来等の専門外来を設置するなど、小児医療の体制の充実を図った。

感染症医療においては、令和元年度に発生した新型コロナウイルス感染症に対して、行政と連携したスムーズな患者の受け入れやPCR検査の実施など、病院一丸となって対応するとともに、地域の医療機関とも連携し、第一種及び第二種感染症指定医療機関として地域の感染症医療における中核的な役割を担うなど、その使命を果たした。

がん治療を含む高度専門医療の提供については、さまざまな分野で治療実績を伸ばし、さらに手術支援ロボット「ダヴィンチ」による手術を開始するなど、患者に身体的負担の少ない低侵襲手術に積極的に取り組んだ。また、第3期中期目標として新たに設定した予防医療の推進に向け、健診部門の体制強化を行い、胃内視鏡検査の検診枠を増加するなど、受診しやすい環境作りを行った。

脳卒中・急性心筋梗塞については、24時間365日ブレインオンコールやハートコールの受け入れ体制を維持し、糖尿病については、糖尿病透析予防指導外来に取り組むなど、各職種の専門性を活かし、患者の心身のサポートを行った。

人材育成については、臨床教育に対する姿勢が認められ、平成27年度は7名であった初期研修医の定員数が令和2年度は13名まで増加した。また、医学生をはじめとする医療系学生の実習等の受け入れや、専門看護師と認定看護師による近隣の医療機関へ出向いてのレクチャーの実施、専門薬剤師による地域の薬局に勤める薬剤師の専門薬剤師育成制度の構築、堺市消防局に勤務する救急救命士の挿管実習の実施など、自院だけでなく、地域の医療専門職の養成や医療従事者の育成に貢献した。

行政との連携においては、がん検診受診率の向上並びにがんに関する予防知識の普及を目的にがん教育の講演会を開催するなど、市民の健康維持や健康寿命の延伸に寄与するため、市と連携してさまざまな講演会や講義を行った。また、性暴力救援センター大阪（SACHICO）協力医療機関として、受診専用ホットラインを開設し性暴力被害者のサポートができる体制を強化するなど、行政に協力した。

経営状況については、新病院建設により悪化に転じた経営状況を、重篤な救急患者の受け入れや手術件数の増加、平均在院日数の更なる短縮及び低侵襲治療への積極的な取り組みにより、入院・外来ともに単価を上昇させることで、収入の確保に努めるとともに、「医療材料費の抑制」「一般管理経費の抑制」「診療報酬の適正請求」の3つのタスクフォースによる費用の削減などに取り組むことで、平成27年度には87.3%であった経常収支比率を、令和元年度には99.8%まで改善させた。

## 第2項 項目別評価

### (I) 大項目評価

#### 第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

##### i) 評価結果 **A** 中期目標を達成した

評価結果	<b>S</b> 中期目標を大幅に上回る	<b>A</b> 中期目標を達成した	<b>B</b> 中期目標をおおむね達成した	<b>C</b> 中期目標を十分達成できていない	<b>D</b> 中期目標を大幅に下回っている
------	-------------------------	-----------------------	---------------------------	-----------------------------	----------------------------

##### ii) 判断理由及び考慮した事項

平成27年度から令和元年度（平成31年度）までの全ての年度において大項目評価が、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」という結果であった。

特に、小項目評価においては、重点ウエイト小項目である1－（1）救命救急センターを含む救急医療については、平成27年度から令和元年度までの全ての年度において「年度計画を大幅に上回って実施している」、2－（1）がんへの対応については、平成27年度から令和元年度までの全ての年度において「年度計画を上回って実施している」という評価であり、いずれの項目も年度計画を上回って実施していた。

これらのことにより第2期中期目標期間の評価結果は、「中期目標を達成した」とする。

##### iii) 小項目評価の集計結果

		小項目評価					重点ウエイト小項目
		H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価	
1 市立病院として担うべき医療	(1)救命救急センターを含む救急医療	5	5	5	5	5	◎
	(2)小児医療・周産期医療	3	4	4	3	3	
	(3)感染症医療	3	3	3	3	5	
	(4)災害その他緊急時の医療	4	4	4	4	4	
2 高度専門医療の提供	(1)がんへの対応	4	4	4	4	4	◎
	(2)脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病への対応	3	4	4	3	3	
	(3)高度専門医療の推進	4	4	4	4	4	

		小項目評価					重点ウ ェイト 小項目
		H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価	
3 安全・安心 で信頼され る患者中心 の医療の提 供	(1) 医療安全対策の徹底	4	4	3	4	5	
	(2) 医療の質の向上	4	4	4	4	4	
	(3) 法令・行動規範の遵守（コン プライアンス）	3	3	3	3	4	
	(4) 患者の視点に立った医療の 実践	3	3	4	4	4	
	(5) 患者サービスの向上	4	4	4	3	4	
4 地域への貢 献	(1) 地域の医療機関との連携推 進	3	4	4	4	4	
	(2) 地域での医療従事者の育成	4	5	5	5	5	
	(3) 医療、保健、福祉、教育など の行政全般等との連携と協力	3	4	4	4	4	
大項目評価		A	A	A	A	A	

## 第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### i) 評価結果 **A** 中期目標を達成した

評価結果	S 中期目標を大幅に上回る	A 中期目標を達成した	B 中期目標をおおむね達成した	C 中期目標を十分達成できていない	D 中期目標を大幅に下回っている
------	------------------	----------------	--------------------	----------------------	---------------------

### ii) 判断理由及び考慮した事項

平成27年度から平成29年度までの年度において大項目評価が、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」という評価結果であった。平成30年度においては、不適切な契約事務手続きにより市民の信頼を損なったことから、大項目評価が、「中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる」という評価結果であったが、令和元年度（平成31年度）には、原因究明に努めた上で、内部統制基本方針を定めたことによる組織全体の継続的なリスク管理の実施、コンプライアンス専任弁護士、内部統制室及び外部専門アドバイザーが三位一体で動くコンプライアンス推進事務局の立ち上げ、内部通報者の保護等に関する要綱の制定及び外部の内部通報窓口の法律事務所への委託など、さまざまな取り組みを実施し、組織全体で再発防止に努めたことから、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」という評価であった。

これらのことにより第2期中期目標期間の評価結果は、「中期目標を達成した」とする。

### iii) 小項目評価の集計結果

		小項目評価					重点ウエイト小項目
		H27評価	H28評価	H29評価	H30評価	R1評価	
1 効率的・効果的な業務運営	(1) 自律性・機動性の高い組織づくり	4	4	4	2	4	
	(2) 質の高い経営	4	4	4	3	4	
	(3) 外部評価等の活用	3	3	4	4	4	
2 やりがいを感じ、働きやすい病院づくり	(1) 職員のキャリアアップにつながる人事・給与制度の整備	4	4	4	4	4	
	(2) 働きやすい職場環境の整備	4	4	4	4	4	
大項目評価		A	A	A	B	A	

### 第3 財務内容の改善に関する事項

#### i) 評価結果 **A** 中期目標を達成した

評価結果	<b>S</b> 中期目標を大幅に上回る	<b>A</b> 中期目標を達成した	<b>B</b> 中期目標をおおむね達成した	<b>C</b> 中期目標を十分達成できていない	<b>D</b> 中期目標を大幅に下回っている
------	-------------------------	-----------------------	---------------------------	-----------------------------	----------------------------

#### ii) 判断理由及び考慮した事項

平成27年度から令和元年度（平成31年度）までの全ての年度において大項目評価が、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」という結果であった。

特に、重点ウエイト小項目である1 安定した経済基盤の早期確立については、平成28年度から令和元年度までの大項目評価が、「年度計画を上回って実施している」という結果であり、年度計画を上回って実施していた。

これらのことにより第2期中期目標期間の評価結果は、「中期目標を達成した」とする。

#### iii) 小項目評価の集計結果

	小項目評価					重点ウエイト小項目
	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価	
1 安定した経営基盤の早期確立	3	4	4	4	4	◎
<b>大項目評価</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>	

第4 その他業務運営に関する重要事項

i) 評価結果 **A** 中期目標を達成した

	<b>S</b>	<b>A</b>	<b>B</b>	<b>C</b>	<b>D</b>
評価結果	中期目標を大幅に上回る	中期目標を達成した	中期目標をおおむね達成した	中期目標を十分達成できていない	中期目標を大幅に下回っている

ii) 判断理由及び考慮した事項

平成27年度から令和元年度（平成31年度）までの全ての年度において大項目評価が、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」という結果であった。  
このことにより第2期中期目標期間の評価結果は、「中期目標を達成した」とする。

iii) 小項目評価の集計結果

	小項目評価					重点ウエイト小項目
	H27 評価	H28 評価	H29 評価	H30 評価	R1 評価	
1 環境にやさしい病院運営	3	3	3	3	3	
大項目評価	A	A	A	A	A	/